

高連第25-1
令和7年7月20日

関係者 各位

全日本高等学校パワーリフティング連盟
理事長 齋藤 誠一郎

全日本高等学校パワーリフティング選手権大会及び
全日本選抜高等学校パワーリフティング選手権大会
参加資格規定における標準記録突破の認定の対象となる競技会について

拝啓

平素より当連盟の業務に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）種目などの他の競技に合わせて標記の件につきまして、下記の通り、参加資格規定（標準記録突破の認定の対象となる競技会）を令和8年度の全国大会から変更し適用させていただくこととなりました。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、全日本選抜高等学校パワーリフティング大会においては令和8年3月度より適用いたしております。

敬具

記

全日本高等学校パワーリフティング選手権大会参加資格規定

〔2〕該当年度において標準記録突破の認定の対象となる競技会

全日本高等学校パワーリフティング選手権大会は、該当年度の4月1日以降
全日本選抜高等学校パワーリフティング選手権大会は全日本高等学校パワーリフテ
ィング選手権大会開催日以降

- A、在籍する高等学校の所在地の各都道府県連盟主催の全日本高等学校パワーリフティング選手権大会地区予選会及び全日本選抜高等学校パワーリフティング選手権大会地区予選会
- B、在籍する高等学校の所在地の日本パワーリフティング協会各都道府県協会主催のパワーリフティング選手権大会

〔4〕特例

予選となる高校生の地区大会が、所属都道府県（以下、代表して県）にない場合について

- (1) 原則として、近隣の県に大会がある場合には、オープン参加で出場し標準記録をとる。
- (2) (1) が不可能な場合には、各学校で、顧問が主催者（近隣にジムがあればそこでの実施も可とするが、顧問が同席する）となり記録会を実施し、そこで標準記録以上の成績をだすことで、出場できるものとする。

但し、以下の条件をクリアし、大会申込票(記録票)の標準記録突破大会については「部活動内記録会」とし、実施した年月日を記入する。

ア 記録会の日程（大会締め切りに間に合う日程）を生徒に予め公表し、一日で三種目を実施し、その日以外の記録は無効とする（体調不良や病気、けが等での欠場の場合の特別扱いはしない。地区大会でも特別な配慮はない。もちろん地区大会が実施されている地区での、記録会の成績は無効である）

イ ルール・用具はその記録会実施時点で適用される最新の JPA ルール（2025 年 1 月 1 日から迷彩柄の服装禁止、2026 年 1 月 1 日以降から使用禁止のニースリーブなど）（JPA ルール・技術委員会の連絡・報告を参照）に従い、コスチュームチェックや試技の正確な判断や判定はもとより、時間の計測なども確実に行う。

※ 用具で 25kg プレートが必要枚数や精密な体重計などが揃っていない場合には、記録会主催者である顧問の判断により、20kg など他のプレートを利用して合計の重量に合致すれば問題ない。

※ 各種目間の休憩時間は、選手の健康状態などを考慮し、顧問が適宜判断し設定する。

ウ 審判は顧問等複数で構成し、最低 1 名以上、3 級以上の資格を持つものを入れることが望ましい。

エ 実施の場合、事前に全日本高等学校パワーリフティング連盟理事長に事前に学校名、日時、人数について連絡をする。